

2023年規定	2022年規定
<p style="text-align: center;">第1章 大会告知 (略)</p> <p style="text-align: center;">第2章 競技参加に関する基準規則</p> <p>第2条 参加車両</p> <p>1) (略)</p> <p>2) 全日本ジムカーナ選手権に参加するP車両、PN車両およびAE車両は、下記事項を満たしたタイヤを使用すること。<u>下記基準を満たすタイヤの銘柄は別途公示する。なお、下記基準を満たし公示される銘柄に掲示されていないタイヤを使用する場合は、満たしていることを証明する資料等を付して、競技会の2ヶ月前までにJAFに申請し、承認を得ること。また、純正装着タイヤを使用する場合は、サイズ変更及びホイール径の変更は認められない。使用が認められるタイヤ銘柄は別途公示する。</u></p> <p>(1) 日本自動車タイヤ協会 (JATMA) の定めるJATMAラベリング規格における転がり抵抗 C 以上、ウェットグリップ d 以上であること、または欧州のグレーディング規格における転がり抵抗 F 以上、ウェットグリップ E 以上のタイヤであること。</p> <p>(2) 上記(1)を満たしたタイヤでかつタイヤ接地面にタイヤを1周する連続した複数の縦溝を有していること。</p> <p>(3) 当該縦溝はトレッドウェアインジケータ (スリップサイン) が出るまで維持されていること。</p> <p>(4) <u>タイヤのトレッド面における溝面積比率 (溝面積/接地幅) が下記基準を満たしていること。</u> <u>※接地幅：タイヤの断面幅に0.75を乗じた範囲とする。</u> <u>※断面幅：タイヤの総幅から、タイヤ側面の模様、文字等を除いた幅をいう。</u></p> <p>①新品時：25%以上 ②50%摩耗時：17%以上 ③100%摩耗時 (スリップサイン露出時)：13%以上</p> <p>(5) <u>溝深さは5.5mm以上 (新品時)、溝幅は1.0mm以上 (新品時) とし、これを満たさない場合は溝とみなさない。</u></p> <p>(6) <u>接地幅において50℃での300%伸長時応力が3.80MPa以上であること。また、同一銘柄におけるすべてのタイヤサイズで、これを満た</u></p>	<p style="text-align: center;">第1章 大会告知 (略)</p> <p style="text-align: center;">第2章 競技参加に関する基準規則</p> <p>第2条 参加車両</p> <p>1) (略)</p> <p>2) 全日本ジムカーナ選手権に参加するP車両、PN車両およびAE車両は、下記事項を満たしたタイヤを使用すること。<u>ただし、下記(2)による縦溝のみを有したタイヤの使用は認められない。</u></p> <p>(1) 日本自動車タイヤ協会 (JATMA) の定めるJATMAラベリング規格における転がり抵抗 C 以上、ウェットグリップ d 以上であること、または欧州のグレーディング規格における転がり抵抗 F 以上、ウェットグリップ E 以上のタイヤであること。</p> <p>(2) 上記(1)を満たしたタイヤでかつタイヤ接地面にタイヤを1周する連続した複数の縦溝を有していること。</p> <p>(3) 当該縦溝はトレッドウェアインジケータ (スリップサイン) が出るまで維持されていること。</p> <p>(4) <u>PN車両のタイヤについては、2023年以降、本項について変更を行う場合がある。</u></p>

<p><u>していること。</u></p> <p>3) ~ 4) (略)</p> <p>第3条~第10条 (略)</p> <p>第3章~第8章 (略)</p> <p>以上</p>	<p>3) ~ 4) (略)</p> <p>第3条~第10条 (略)</p> <p>第3章~第8章 (略)</p> <p>以上</p>
---	---